

令和2年度

事業報告書

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

社会福祉法人

海田町社会福祉協議会

令和2年度事業実施報告

1 基本計画に対して

海田町においては、平成30年7月豪雨災害以降、災害に強いまちづくりを目指して、復旧・復興への取り組みとともに、インフラの強靱化や防災対策の強化に取り組まれています。また、子育てしやすく暮らしやすい環境の整備、高齢者の健康づくりなど、地域共生社会の実現の礎となる各種施策を推進しています。

海田町社会福祉協議会においても、平成30年7月豪雨災害の被災者を支援するため、「被災者見守り・相談支援等事業」を町から受託し、地域支え合いセンターとして被災者の生活再建や心のケア、孤立を防ぐための地域とのつながりづくりを行いました。

また、高齢者に対する支援については、町や関係機関との連携を深めるとともに、コロナ禍で集いの場の開催が困難な期間には、感染防止方法やつながりを切らさない地域支援のあり方について、町内自治会や他市町社協等からの情報をもとに福祉委員へ情報提供を適宜行いました。

障がい者（児）に対する支援については、引き続き「障害者相談支援センター」において、本人や家族等の意思を尊重した相談支援サービスに努めました。

ボランティアセンター事業については、これまでの地域ボランティアの育成に加え、防災への意識向上のため、被災者自らの体験談を報告いただく防災研修を実施しました。

海田町福祉センターの指定管理事業については、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、高齢者の生きがいと教養の向上を図るための拠点として、健康維持や体力増進のためのプール運営をはじめ心身の健康相談や利用者自らが運営する自主講座の活動場所を提供するなど、住民相互の交流や活動の場づくりに努めるとともに、施設の老朽化に伴う迅速な修繕対応など適切な管理運営に努めました。

なお、町からの指示に基づき、令和2年3月7日から5月17日までと、12月15日から令和3年2月21日までは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、福祉センター休館等の対応にあわせて、やむを得ず事業の一部を中止しました。

2 重点事業

1 被災者見守り・相談支援等事業

被災者の生活再建の支援として、戸別訪問による支援や地域との繋ぎ支援のほか、被災者体験談を含めた研修会を開催しました。また、地域支え合いセンターの閉所に備え専門職への繋ぎなど、関係団体との連携に努めました。

2 高齢者支援事業

高齢者の生きがいと健康づくりの推進として、福祉センターを拠点とした活動の場の提供や、さわやか大学の開催など福祉センター事業の充実に努めました。

3 障害者相談支援事業

専門的な職員（保健師・社会福祉士）を配置し、相談支援体制の充実に努め、個に応じたサービス提供に努めました。

4 ボランティア育成事業

グループや個人を育成する講座の開催や、小・中・高校生のほか、専門学校生に白杖体験などを行うことにより、障がいへの理解を深めるボランティアグループの結成と活動の充実に繋げました。

5 生活支援体制整備事業

いきいきサロンなど地域の集いの場の自粛期間には、福祉委員や関係機関からコロナ禍でのつながりづくりについて情報収集し、工夫されている自治会の情報等の提供を福祉委員に対して適宜行いました。

3 主な施策の実施状況

(1) 当事者・家族の組織化・支援

① 被災者見守り・相談支援

- 被災者の生活再建の支援や関連団体と連携を図りながら、見守りや地域交流の推進など総合的な支援に取り組みました。また、減災・防災の心構えや住民同士の助け合いを広めることを目的に、被災者の思いを尊重した体験発表の場を提供しました。

- ◇被災者等への戸別訪問及び関係機関への引き継ぎ
- ◇ボランティア人間塾における防災研修の開催
- ◇地域支え合いセンター連携会議への参加及び情報共有
- ◇福祉なんでも相談窓口の開設

② 高齢者対策

- コロナ禍における集いの場への支援として、福祉委員や他市町の社協等から情報収集し、感染予防対策を徹底しながら行っている集いに関する情報提供や活動紹介等を行いました。
 - ◇ふれあい上映会など出前ボランティアの調整
 - ◇福祉委員等への情報提供や連携の緊密化
 - ◇貸出物品や出前講座の利用促進
 - ◇活動助成金の交付
- 一人暮らし及び高齢者世帯の在宅生活を支援するため、必要な各種サービスを実施するとともに、生活支援体制整備事業における体制の充実に努めました。
 - ◇福祉車両貸出サービス事業の実施
 - ◇寝具洗濯乾燥消毒サービス事業の実施
 - ◇訪問理美容サービス事業の実施
 - ◇あんしんホットコール事業の実施
 - ◇介護器具貸出サービス事業の実施
 - ◇福祉サービス利用援助事業（かけはし）の実施
 - ◇生活支援体制整備事業協議体委員会の開催
 - ◇かいもの便利帳の発行
- 様々なニーズに即した支援・研修等を行いました。
 - ◇心配ごと相談事業の実施
 - ◇介護者の集いの実施
- 健康づくりや介護予防に取り組み、生きがい対策を行いました。
 - ◇世代間交流事業の実施
 - ◇高齢者教養健康講座の実施

◇さわやか大学の実施

◇水中健康教室の実施

◇健康相談の実施

③ 障がい者（児）対策

- 障害者相談支援センターを通じ、本人・家族等の要望に応じた支援ができるよう相談体制を充実するとともに、障がい者（児）を支援するサービス利用計画を作成しました。

◇障がい者（児）や家族に対する相談支援の実施

◇障がい者（児）に対するサービス利用計画作成・モニタリングの実施，サービス担当者会議の開催

◇福祉車両貸出サービス事業の実施

◇訪問理美容サービス事業の実施

◇介護器具貸出サービス事業の実施

◇福祉サービス利用援助事業（かけはし）の実施

◇手話奉仕員養成事業の実施

④ 児童・青少年・ひとり親家庭等対策

- 福祉教育推進校等による体験学習を通じて、福祉の心を育てるとともに、高齢者や障がい者とのふれあいを大切にし、ボランティア活動を通じて社会の一員としての自覚と相互扶助の精神を育成しました。

◇小・中・高等学校，専門学校への福祉体験学習の支援

◇世代間交流事業の実施

◇交通遺児就学奨励金給付事業の実施

⑤ 生活困窮者対策

- 生活困窮者（世帯）等に対し、生活の自立を図ることを目的とした貸付等を行いました。特に、新型コロナウイルスの影響を受け、休業・失業等により収入の減少があった方を対象として、特例貸付を行いました。

- ◇生活福祉資金（緊急小口資金・総合支援資金を含む）の貸付事業の実施
- ◇高額療養費貸付事業の実施
- ◇善意銀行の実施
- ◇法外援護の実施

(2) 地域住民の啓発と組織

① ボランティア育成

- 障がいの理解や防災等をテーマとしたボランティア講座を開催し、地域のニーズに対応できるボランティアの育成に努めるとともに、被災者生活サポートボランティアセンターの役割と必要性について周知しました。

◇ボランティア人間塾の開催

- ボランティア（グループ・個人）の育成に努めるとともに、ボランティア同士のネットワークや交流の輪を広げました。

◇ボランティアセンター運営委員会の実施

◇ボランティアグループ連絡会の実施

- ボランティアによる各種活動を地域や学校へ積極的に情報提供しました。

◇ふれあい上映会の実施

◇障がいの理解に向けて車いす体験等の指導ボランティアの育成

◇中学校や高校・専門学校との協働によるボランティアグループへの活動の場の提供

② 地域福祉の推進

- 生活支援コーディネーターの地域訪問や電話での情報収集をもとに、サロンが開催できない状況でのつながり方や工夫について、福祉委員に情報提供を行いました。

- 福祉委員を含めた地域活動実践者への支援のほか、地域福祉活動の拡充に取り組み、福祉ニーズの把握に努めるとともに、被災者支援について情報共有を行いました。

◇地域福祉推進連絡会の開催

◇被災者生活サポートボラネット推進会議の開催

- 社協だより・ボランティア通信を発行し、より多くの地域住民に情報提供を行うとともに、各種事業を周知し、福祉意識の醸成を図りました。
- 当社協のホームページを充実し、タイムリーな情報発信と啓発活動を行いました。
- 「社協オークション」を開催し、各家庭で眠っている品物を有効活用するとともに、自主財源確保に努めました。
- ボランティア活動の周知やボランティア団体等のつながりを目的とした「スマイルフェスタinかいた」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

(3) 社協基盤の整備

- 法令を順守した、適正な社会福祉法人の運営に努めました。
- 各種規程の整備など、事業運営体制の充実に努めました。
- 家庭裁判所との情報交換を行うなど、法人後見事業に関する情報収集を行いました。
- 職員研修に積極的に参加し、知識習得などの資質向上に努めました。
- 赤い羽根共同募金事業及び日本赤十字社事業への協力を努めました。

(4) 海田町福祉センターの管理運営

《指定管理期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）》

- 指定管理者として、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、より一層の町民サービスの向上と効果的・効率的な管理運営を行いました。
- 施設見学の受け入れに関して、わかりやすい情報を提供し、福祉センターへの理解及び福祉意識の醸成に努めました。
- 自主講座への支援やさわか大学の開催により、主体性を持った活動の推進や健康寿命の延伸、フレイル予防の対策を充実しました。
- 3密を回避するよう人数制限等の感染予防を徹底しながら、健康増進プールや筋力向上トレーニングルームの利用を促進し、利用者の転倒予防や健康増進の充実に努めました。

- 高齢者の生きがいをづくりや、交流の輪を広げることを目的とした「福祉センターまつり」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

開催年月日 出席者数	会議名	付 議 事 項 等
R2. 4. 30 12名/12名	第1回 理事会 (決議省略)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人海田町社会福祉協議会理事候補者について ・ 社会福祉法人海田町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について ・ 社会福祉法人海田町社会福祉協議会評議員候補者について ・ 令和2年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会第1回評議員選任・解任委員会の開催について
R2. 5. 20 25名/25名	第1回 評議員会 (決議省略)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人海田町社会福祉協議会理事の選任について
R2. 6. 11 11名/12名	第2回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会事業報告及び決算について ・ 令和2年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会第2回評議員会の開催について ・ 令和2年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会補正予算(第1号)について
R2. 6. 26 21名/25名	第2回 (定時) 評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会事業報告及び決算について ・ 令和2年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会補正予算(第1号)について
R2. 12. 9 11名/12名	第3回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人海田町社会福祉協議会定款の変更について ・ 社会福祉法人海田町社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について ・ 社会福祉法人海田町社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正について ・ 社会福祉法人海田町社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・ 社会福祉法人海田町社会福祉協議会表彰規程の一部改正について ・ 社会福祉法人海田町社会福祉協議会事案専決規程の一部改正について

		<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人海田町社会福祉協議会文書取扱規程の一部改正について ・社会福祉法人海田町社会福祉協議会金庫管守規程の制定について ・令和2年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会補正予算（第2号）について ・令和2年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会第3回評議員会の開催について
R2. 12. 21 12名/12名	第4回 理事会 (決議省略)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会第3回評議員会の開催中止及び決議省略による評議員会の開催について
R2. 12. 25 25名/25名	第3回 評議員会 (決議省略)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人海田町社会福祉協議会定款の変更について ・社会福祉法人海田町社会福祉協議会補正予算（第2号）について
R3. 1. 7 11名/12名	第5回 理事会 (決議省略)	<ul style="list-style-type: none"> ・海田町くらしの安心・サポートセンター運營業務受託候補者選定に係る公募型プロポーザルの応募について
R3. 3. 19 10名/12名	第6回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会事業計画及び収支予算について ・令和2年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会第4回評議員会の開催について ・社会福祉法人海田町社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・令和2年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会補正予算（第3号）について ・社会福祉法人海田町社会福祉協議会事務局長の選任について
R3. 3. 29 22名/25名	第4回 評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会補正予算（第3号）について ・令和3年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会事業計画及び収支予算について

令和2年度会員加入状況

世帯数：R2.9現在

自治会名	世帯数	賛助 会員数	戸別 会員数	金額(円)	令和元年度	
					会員数	金額(円)
上 市	133		101	30,300	103	30,900
一 貴 田	37		34	10,200	35	10,500
中 店	174		100	30,000	104	31,200
新 町	226		162	48,600	162	48,600
稲 荷 町	199		152	45,600	150	45,000
窪 町	298		175	52,500	200	60,000
大 正 町	435		158	47,400	161	48,300
南 大 正 町	380		0	0	117	35,100
日 の 出 町	265		79	23,700	87	26,100
南 昭 和 町	559	1	246	74,800	264	79,900
昭 和 中 町	330		191	57,300	198	59,400
曙 町	349		156	46,800	144	43,200
東 昭 和 町	370		204	61,200	204	61,200
昭 和 町	200		119	35,700	115	34,500
市 頭	78		51	15,300	53	15,900
サンシティ海田昭和町	88		38	11,440	38	11,440
成 本	220		170	51,000	170	51,000
成 本 自 衛 隊	28		27	8,100	30	9,000
石 原	103		94	28,200	100	30,000
山 畝	75		50	15,000	60	18,000
畝	225		120	36,000	118	35,400
上 畝	72		70	21,000	67	20,100
砂 走	350		267	80,000	267	80,000
国 信	487		167	50,000	167	50,000
蟹 原	697		305	91,500	305	91,500
稲 葉	255		175	52,500	170	51,000
寺 迫	495		0	0	313	93,900
浜 角	143		120	36,000	120	36,000
県営東海田住宅	38		36	10,800	37	11,100
つくも県営	121		67	20,000	67	20,000
南つくも町	33		31	9,300	30	9,000
南堀川町	627		150	44,900	125	37,500
栄 町	116		49	14,700	49	14,700
ディーレスタシア海田	61		62	18,600	36	10,800
月見県営	120		88	26,400	92	27,600
つくも町県警	32		30	9,000	28	8,400
月見町	250		200	60,000	200	60,000
南本町	350		152	45,600	160	48,000
南幸町	868		461	138,300	433	129,900
大立町	355		267	80,000	267	80,000
西 浜	340		209	62,700	207	62,100
幸 町	303		100	30,000	100	30,000
汁 免	501		295	88,400	315	94,500
朝 陽	101		90	27,000	90	27,000
東	334		200	60,000	200	60,000
西	485		368	110,500	381	114,400
小 計	12,306	1	6,384	1,916,340	6,838	2,052,140

令和2年度 団体会員加入状況

(順不同、敬称略)

企 業 名 等	金額 (円)	企 業 名 等	金額 (円)
㈱アイオイ保険センター	3,000	(福)慈楽福祉会 海田じらく房	3,000
㈱安芸管理サービス	3,000	新生物流サービス ㈱	3,000
安芸商工会	3,000	(有)新聞販売JIN	3,000
安芸地区医師会	3,000	(福)創絆福祉会 花みずき	3,000
安芸農業協同組合	3,000	(有)タケハラ工業	3,000
秋本クリニック	10,000	ちえ内科クリニック	10,000
㈱イガワテック	3,000	㈱千薬物流倉庫	3,000
イチマ歯科医院	3,000	常本一三税理士事務所	5,000
稲垣 歯 科	3,000	富永商事 ㈱	3,000
㈱植田商店	3,000	中谷商事	3,000
江草興機 ㈱	3,000	長畑 歯 科 医 院	3,000
NPO法人安芸ソーシャルサポートの会	3,000	㈱長山電気商会	3,000
園興産 (有)	3,000	㈱にしき堂海田工場	3,000
おおよ耳鼻咽喉科	3,000	(有)乗重設備	3,000
かいた駅前歯科	3,000	ひまわり印刷 ㈱	3,000
㈱KAITAK	3,000	(有)ピュアライフサービス	3,000
海田みどり幼稚園	3,000	平田 歯 科 医 院	3,000
海田ゆめぞら歯科	3,000	広島ガスプロパン ㈱	3,000
海田よつ葉クリニック	3,000	広島海苔 ㈱	3,000
片桐整形外科	3,000	ふくやま保険事務所	3,000
かわもと皮ふ科	3,000	フジ海田店	3,000
岸保歯科医院	3,000	平成電工株式会社	3,000
菊川皮ふ科医院	3,000	松川建設 ㈱	3,000
(福)見真会 明光保育園	3,000	㈱マツダオートザム海田	3,000
倉本鉄工 ㈱	3,000	まりあ眼科クリニック	3,000
小さくら保育所	3,000	みぞて眼科	3,000
こどものひろば ポーポーの木	4,000	溝手建設 ㈱	3,000
さいわい保育園	3,000	森原内科胃腸科医院	3,000
㈱サニクリーン中国 広島東支店	3,000	山本整形外科病院	3,000
(有)三基工業	3,000	ヨシワ工業 ㈱	3,000
サンドイッチのポピア	3,000	㈱レール	3,000
㈱シーエル広島	3,000	㈱ワイテック	3,000
JSS大州スイミングスクール	3,000		
65件		212,000円	

一般会費 賛助会費	1,916,340円
団体会費	212,000円
合 計	2,128,340円

一般会費：目安額300円 賛助会費：目安額1,000円 団体会費：目安額3,000円

令和2年度事業実施概要

1 当事者・家族の組織化・支援

1 ふれあい・いきいきサロン事業

高齢者・障がい者（児）及び児童などの社会参加と交流の場をつくっている自治会に対し、助成金の交付やレク用品の貸出、ボランティア派遣、情報提供などにより支援しました。

団体数	34団体
助成額	1団体20,000円（年額）

2 見守り訪問活動推進事業

高齢者及び障がい者（児）等で見守りが必要と思われる世帯を訪問し、地域社会における見守りネットワークづくりを行っている自治会に対し、助成金の交付などにより支援しました。

団体数	31団体
助成額	1団体10,000円（年額）

3 ふれあい上映会事業

映画の視聴を通して仲間づくりやふれあい交流等を行い、心の通う地域福祉を推進することを目的として、ふれあい・いきいきサロンなど、申請された希望場所にボランティア等が機材を運び映画を上映しました。

団体数	9団体
出前回数	10回
利用者数	197人

(2回上映含む)

4

介護器具の貸出

在宅介護を必要とする高齢者・障がい者（児）に対し、介護の負担や日常生活の支障を少しでも軽減することを目的として、介護器具の貸し出しを行いました。

器具名	所有数	R2年度 貸出数	R2年度 返却数	総貸出数	在庫数 (3/31現在)
車椅子	69	23	26	55	14
杖	20	4	2	6	14
歩行器	2	3	2	1	1
四輪歩行車	9	3	0	8	1

利用料（消毒料）	搬送料（往復分）
550円	2,000円

5

気ばらし会（介護者の集い）

在宅で高齢者・障がい者（児）の介護をしている方を対象に、同じ悩みを共有する方々が交流することにより心身の疲れを癒すとともに、情報交換の場及び仲間づくりを行いました。

月日	内 容	参加者（人）
4/ 8	座談会	中止
5/13	座談会	中止
6/10	座談会	6
7/ 8	座談会	5
9/ 9	座談会	4
10/ 2	座談会	5
11/ 6	座談会	5
12/ 4	「終活」について学ぼう	9
1/ 8	認知症予防の為の運動教室	中止
2/ 5	ACP（アドバンスケアプランニング）講座	中止
3/ 5	知って得する介護保険～自立支援を目指して～	8
合計（延べ）		42

新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月・5月・1月・2月中止

6 福祉車両貸出サービス事業

日常的に車椅子を使用し、バスやタクシーを利用することが困難な方に、福祉車両の貸し出しを行い、外出の支援を行いました。

登録者	25人
年間利用件数	延べ19回
利用者負担	使用した燃料

7 海田高校生「手づくり弁当交流会」

地域で生活される70歳以上の一人暮らしの方を対象に、海田高等学校生徒が手作りしたお弁当を囲んで交流会を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

8 サンタプレゼント事業

子どもに夢を与えるとともに、ボランティアとの交流を通じて豊かな心を育成することを目的に、保護者から預かったプレゼントをサンタボランティアが届ける予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

9 福祉教育推進校事業

小・中・高校の児童や生徒の社会福祉への理解と関心を深め、地域連帯の精神を養うとともに、ボランティア活動を通じて家庭及び地域社会の活性化を図り、心の通う地域づくりを推進するため、助成金の交付や出前授業などを行いました。

指定校	海田小学校、海田東小学校、海田西小学校、海田南小学校 海田中学校、海田西中学校
助成額	1校 50,000円(年額)

・福祉教育推進校連絡会議 6/30

福祉出前講座等

	月日	内 容	学校名	学 年	生徒数
1	9/14	聴覚障がい者の理解 手話体験	海田小学校	3年生	71人
2	9/15	視覚障がい者の理解 ボランティア講話	広島福祉 専門学校	1年生	14人
3	9/24 9/25	高齢者へのメッセージ新聞づくり 視覚障がい者の理解/点字体験 朗読体験/早口言葉でお口の体操 聴覚障がい者の理解/手話体験 車椅子体験/白杖体験	海田中学校	3年生	334人
4	10/5	車椅子体験 高齢者体験	海田西小学校	4年生	31人
5	10/16	視覚障がい者の理解 点字体験	海田小学校	3年生	71人
6	11/27	高齢者体験/車椅子体験 障がい講話	海田小学校	3年生	71人
合 計			7回	延べ	592人

10 手話奉仕員養成講座（受託事業）

聴覚障がい者の生活及び福祉制度についての理解と認識を深めるとともに、海田町手話奉仕員派遣事業へ登録し、奉仕活動を行う手話奉仕員を養成する講座を開催しました。

開 催 日	9/14～3/15（18回）
参 加 者	15人（延べ165人）

11 訪問理美容サービス事業（受託事業）

町内在住の65歳以上のみの世帯及び身体障がい者及び介護保険で要支援・要介護認定を受けた方で、外出困難な方を対象として、自宅を訪問し理美容サービスを提供しました。

登 録 者	76人	
年間利用件数	延べ86回	
利用者負担金	1回1,000円	65歳以上のみの世帯 「身体障害者手帳」保有者
	1回1,500円	要支援・要介護認定のみ
利用制限	1人年4回まで	

12 寝具洗濯乾燥消毒サービス事業（受託事業）

町内在住の65歳以上のみの世帯及び介護保険で要支援・要介護認定を受けた方に、寝具一式（上下布団・毛布）の洗濯・乾燥・消毒を行い、衛生的な在宅生活の支援を行いました。

	掛布団	敷布団	毛 布	利用者
利用件数	46枚	25枚	38枚	延べ42人
負担金	300円	300円	50円	
利用制限	1人年2回まで			

13 あんしんホットコール事業（受託事業）

町内在住の65歳以上のみの世帯に対し、電話による相談や安否確認を行い、高齢者の安全と精神的安定を図り、高齢者が健全で安らかな生活を営むことを支援しました。

登 録 者	24人
コール回数	延べ1,782回

14 水中健康教室（受託事業）

フレイル予防や寝たきり予防、健康増進を目的としてプールを活用した水中教室を施しました。

	1クール	2クール	合 計
開催数	12回 (6/3～9/16)	6回 (9/23～12/2)	18回
参加者	26人	24人	50人
参加費	1,000円/1クール		延べ出席者 418人
対 象	町内在住65歳以上		

15 障害者相談支援センター（受託事業）

障がいのある人の福祉に関する様々な問題について、障がいのある人等からの相談に応じ、必要な情報の提供を行うほか、障がい者（児）を支援するサービス利用計画を作成しました。

相談件数	175件	計画作成数	63件
契約者数	74人	モニタリング	130件

16 生活支援体制整備事業（受託事業）

高齢者の生活課題を掘り起こし、社会参加や支え合いの仕組みづくりに向けて地域資源の活用・発掘に取り組みました。

特に、コロナ禍における地域活動については、福祉委員等からの情報提供に加え、広島県社協や他市町社協からも情報収集し、つながりを切らさない地域活動について社協だより等で情報を発信しました。

また、町内の地域資源を見える化するため、いきいきサロンや老人クラブの状況をまとめたマップを作成し関係機関へ情報提供しました。

さらに、要支援者向けアンケート集計や認知症カフェへの参加等からニーズ把握を行い、福祉委員などの地域活動者や地域包括支援センター等への情報提供を行いました。

- 生活支援コーディネーターを配置し、関係機関とのネットワーク構築、情報共有等を行いました。

活動内容	回数
いきいきサロン訪問	8回
いきいき百歳体操訪問	24回
社協だより等情報の発信	8回

- 生活支援体制整備事業協議体委員会を開催し、住民主体の支え合い手法や地域別の課題等について協議しました。

月日	出席者数
10/2	15人
3/5	13人

- 移動困難な高齢者等に対する支援として「かいもの便利帳」を発行し、自治会や居宅介護支援事業所（22箇所）等へ配布しました。

17 被災者見守り・相談支援等業務（受託事業）

平成30年7月豪雨で被災された方の早期生活再建を支援するとともに、地域全体が安心して日常生活を送れるように、見守りや地域交流の推進など総合的な支援に取り組みました。

関係機関との連携では、支援世帯別ケース検討や支え合い連携会議に参加し、住宅再建支援に関する協議、個別ケース検討会、包括支援センターや町保健師との情報交換等を行いました。

また、地域全体へ減災・防災の心構えや住民同士の助け合いの必要性をひろめることを目的として、被災体験の発表をボランティア人間塾で行いました。

センター閉所に備え、町保健師との同行訪問を行い、継続支援世帯の見守りや相談先が確保されるよう引き継ぎを行いました。

○ 支援世帯数（令和3年3月末）（単位：件）

	訪問対象世帯数			支援最終世帯数
	重点見守	通常見守	不定期見守	
みなし仮設住宅	2		2	811
公営住宅				
在宅	3		3	
町外家族				
町内家族				
他市町居住				
計	5	0	5	

○ 支援実施回数（令和2年4月～令和3年3月）

	訪問	電話	来所	その他	支援数
みなし仮設住宅	42	1	1	2	46
公営住宅	4	1	0	0	5
在宅	94	24	0	0	118
その他	7	9	1	0	17
住宅等被災無	5	1	0	0	6
計	152	36	2	2	192

○被災体験の講演会(ボランティア人間塾特別編「防災講習」)

開催日時	場 所	参加者
11月20日(金)10:00~11:30	福祉センター	56人

○福祉なんでも相談

-相談内容件数

	件数	合計
福 祉 制 度	25	80
介 護	5	
保 育・子育て	3	
健 康・医療	6	
就 学・就 労	4	
家 計・生活費	18	
住 宅	4	
社会参加・地域活動	1	
そ の 他	14	

18 筋力向上トレーニングルーム事業 (指定管理)

町内在住の20歳以上の方を対象に、転倒予防や筋力向上を目的としてトレーニングルームを無料開放し、利用者の健康増進を図りました。

月	利用者(人)	月	利用者(人)	月	利用者(人)
4	中止	8	323	12	168
5	32	9	353	1	中止
6	311	10	440	2	75
7	303	11	367	3	458
利用者 合計		2,830 人			

新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月・1月中止

19 世代間交流事業 (指定管理)

高齢者や子どもが共通の講座に参加できる交流事業を実施することで、高齢者の健康で安らかな生活の維持及び社会参加を促進し、あわせて子ども達の思いやりの心を養う機会になりました。

月 日	内 容	参加者	参加費
12/12	ライフキネティックで楽しくトレーニング	8人	500円
3/6	長唄三味線に挑戦	5人	500円

20 教養健康講座（指定管理）

町内在住の60歳以上の方を対象に、生きがいの推進、心身の健康及び日常生活での教養の向上のための講座を開催しました。

	月 日	内 容	参加者（延べ）	参加費
1	4/7 4/14 4/21 4/28	ライフキネティックで楽しく トレーニング	中止	1,000円
2	5/7 5/14 5/21 5/28	睡眠講座	中止	1,000円
3	6/2 6/9 6/16 6/23	自分でできるリフレクソロジー	中止	1,000円
4	7/21 7/28 8/4 8/11	スマホ簡単教室	10人(39人)	無料
5	11/10 11/17 11/24 12/1	睡眠講座	4人(13人)	1,000円
6	1/6 1/20 1/27 2/3	スマホ簡単教室	中止	無料
合 計			延べ52人	

新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月・5月・6月・1月中止

21 健康相談（指定管理）

町内在住の40歳以上の方を対象に、保健師による個別健康相談、血圧測定、検尿等を実施し、健康維持に寄与しました。

月 日	参加者数 (人)	月 日	参加者数 (人)
4/14	中止	10/13	7
5/12	中止	11/10	5
6/9	6	12/8	8
7/14	中止	1/12	中止
8/11	4	2/9	中止
9/8	4	3/9	6
全7回		合計	40人

新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月・5月・7月・1月・2月中止

22

さわやか大学 (指定管理)

町内在住の60歳以上の方を対象に、教養を深める場として、また地域において健康や福祉等の指導的役割を担っていただける方の育成のため大学を開催しました。

運営委員会 (月日)			
4/8 (中止)	7/8	10/14	1/13 (中止)
5/13 (中止)	8/12 (中止)	11/11	2/10 (中止)
6/10	9/9	12/9	3/10

新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月・5月・8月・1月・2月中止

	月 日	内 容	参加者数
1	4/8	「健“腸”長寿を考えよう」 広島中央ヤクルト販売株式会社 山本人史	中止
2	5/13	「食品ロス削減を考えよう」 日本料理 以多屋 代表取締役 専門調理師 板谷恭光	中止
3	6/10	「終活について」 菅洞宗八屋山普門寺副住職 吉村昇洋	68人
4	7/8	「豊かな人生とともに～私の心づもり～」 安芸地区医師会 総合介護センター 統括所長 板谷裕美	77人
5	8/12	「マンドリンとギターの素敵な音色コンサート」 矢野マンドリンアンサンブル	中止
6	9/9	「和楽器の奥深い魅力」 長唄三味線演奏者 川東陽華	61人
7	10/14	「健“腸”長寿を考えよう」 広島中央ヤクルト販売株式会社 山本人史	74人

	月日	内 容	参加者数
8	11/11	「コロナに負けない食事～免疫力アップ～」 日本料理 以多屋 代表取締役 専門調理師 坂谷 恭光	62人
9	12/9	「ひとりではいけない」 ヴィオラ奏者 沖田 孝司・千春	61人
10	1/13	「新春初笑い」 秋風亭 てい朝	中止
11	2/10	「若者とのコミュニケーション～世代間ギャップを理解しよう～」 シニアライフアドバイザー 幸田 洋子	中止
12	3/10	「元気届ける民謡三味線」 増谷 哲也	62人
年会費 0円 (登録者 105人) ※年会費を全額返金したため		参加合計 延べ	465人

新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月・5月・8月・1月・2月中止

2 地域住民の啓発と組織化

1 第17回スマイルフェスタinかい

地域の絆を開催理念にボランティア活動の推進と普及を目的とし、同じ地域に暮らす住民の誰もがボランティアに関われるよう“住民自身が考え自ら動く”という住民主体のイベントを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

○ 第17回スマイルフェスタinかい実行委員会（原則毎月第3水曜日）

月 日	参加者数
4 / 15	10人
6 / 17	8人
7 / 15	8人
合計 延べ	26人

2 広報啓発

社協だより

すべての住民が社会福祉を正しく理解するとともに、社協を身近なものと感じてもらうため広報誌を発行しました。

また、社協だより中面 2 ページには、ボランティア通信として、福祉講座のご案内や講座参加者の感想、地域の情報をお伝えしました。

(年 6 回奇数月全戸配布)

・社協ホームページ

インターネットの普及に伴い、タイムリーな情報発信の手段として当協議会のホームページを運営しました。

また、新型コロナウイルス感染防止による福祉センター休館、各指定管理事業等の休止・再開状況を更新しました。

3 地域福祉推進連絡会等

地域福祉推進連絡会等を開催し、自治会長に対して当協議会の事業説明等を行い、協力を求めました。

地域福祉推進連絡会	開催日	
会場：福祉センター	6/19	9/18

自治会長会議での説明	開催日
会場：織田幹雄スクエア	3/22

社協だよりの配布、日赤・共募・社協会費の募集依頼等について、住民活動センターに資料配布をお願いしました。

4 海田町福祉センターまつり（指定管理）

高齢者の健康保持と社会参加及び生きがいの増進を図るため、福祉センターまつりを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

○ 福祉センターまつり実行委員会

月 日	参加者数
6/22	26人
7/27	20人

3 その他福祉推進の諸活動

1 ボランティア人間塾

住民にボランティア活動を始めるきっかけや、地域福祉に関心を持ってもらうことを目的として、ボランティア活動者の体験談や、障がいへの理解などを伝える講座を開催しました。また、災害時における避難意識の向上のため、防災講習も行いました。

	月日	講座名	内容	参加者
1	5/16	記念イベント 第1部 織田幹雄DVD鑑賞 第2部 「パラリンピックの持つ力」	オリンピックイヤーに因んで、海田町出身金メダリスト織田幹雄さんの人生をまとめたDVD鑑賞と、広島出身でアテネパラリンピックに出場した崎本さんが、困難を乗り越え水泳に打ち込む人生の楽しさを語る。	中止
2	6/13	災害ボランティアセンターとは (町防災訓練協働編)	平成30年7月豪雨災害被災者の話を聞くことや、災害対応ゲームの実施・避難地図を作ることなどで、防災や避難などいざという時の備えをする。	中止
3	7/3	人がやさしいまちづくり講座 「まちを楽しく豊かにするのは」	まちを楽しく豊かにするのは『人のやさしさ』。『人がやさしいまちづくり』を目指して、私たちが何ができるかを学び考える。	39人
4	9/12	輝くくらし発見講座 「魅力あるまちづくりとは」	私たちのまちをもっと暮らしやすく素敵なものにするために、山崎さんの活動から、住民主体のまちづくりを学ぶ。	35人
5	12/4	心のリハビリ講座 「歌って楽しく元気に」	音楽療法士の資格を持ち、福祉施設へ訪問活動をしている金さんから、音楽の持つ力を体感する。	31人
6	1/22	障がいを理解する講座 「楽しく生きる～喜び溢れる生活～」	障がいに向き合い、夢に向かって積極的に活動する24歳の平田さん。多くの人とのつながりを築き、前向きに生きる若い力を知る。	中止

	月日	講座名	内容	参加者
7	2/19	自分らしく生きるための講座 Let's TRY! 見て 聴いてボランティア体験	自分のできることをできる範囲でお手伝いするため、自分の一歩を踏み出す気持ちを応援。ボランティア活動をしたい思いにエールを送る。	中止
特別編	11/20	防災講習 「いのちを守るために～予測できない事態にどう対応するか？」	防災最新情報と感染対策等について町防災課から学ぶ。平成30年西日本豪雨災害の被災者からは、災害への備えと地域での助け合いについて学ぶ。	56人
	8/20	小学4～6年対象 夏休みしあわせ探検コース	視覚障がい体験と視覚障がい者の体験談を聞いて、僕たち私たちが何ができるか考えよう!	中止
参加者合計 延べ				161人
ボランティアスタッフ (運営委員) 内				27人

新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月・6月・8月・1月・2月中止

2 公開医療講座〔海田町社協、マツダ病院共催〕

地域住民の健康についての知識を深めるとともに、疾病予防について学習するための講座を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

3 ボランティアセンター関係

ボランティア活動の活性化を目指し、連絡会議の開催のほかグループ及び個人ボランティアへの支援、情報提供、需給調整などを行いました。

ボランティア連絡会 (原則奇数月第1木曜日)

月日	参加者数	月日	参加者数
5 / 7	中止	1 / 7	中止
7 / 2	12人	2 / 12	中止
9 / 3	11人	3 / 4	8人
11 / 5	9人	合計延べ 40人	

新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月・1月・2月中止

ボランティアセンター運営委員会（原則毎月第2火曜日）

月 日	参加者数	月 日	参加者数
4 / 14	8人	11 / 10	8人
5 / 12	中止	12 / 8	9人
6 / 9	8人	1 / 12	中止
7 / 14	8人	2 / 9	8人
9 / 8	6人	3 / 9	9人
10 / 13	7人		
合計延べ			71人

新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月・1月中止

- ・ ボランティア登録者数 417人
- ・ ボランティアグループ登録数 12団体
- ・ 社協だより中面にボランティア通信を掲載 年6回 全戸配布
- ・ ボランティア調整件数（上映会、紹介・相談含む） 45件
- ・ レク用品等貸出件数 28件

海田町社会福祉協議会 登録 ボランティアグループ 活動一覧

グループ名	活動内容	社協事業への協力	回数	定例会 及び ボランティア活動	回数
	年間助成金額				
あじさいの会	一人暮らし高齢者に 手づくり新聞の発行 ・ 配布	・ ボランティア連絡会	4	・ 定例会（親睦会も含む）	9
	10,000円			・ 発行（印刷を含む）	4
お楽しみ座	民謡・おどり・腹話 術等楽しさの出前	・ ボランティア連絡会	3	・ 定例会（親睦会も含む）	7
		・ ボランティア人間塾参加	4	・ 練習（ハーモニカなど）	17
		・ スマイルフェスタ （洋館も含む）	3	出前	
		・ オークション	3	・ じらく房（中止）	
	25,000円				

グループ名	活動内容	社協事業への協力	回数	定例会 及び ボランティア活動	回数
	年間助成金額				
海田おもちゃの病院	おもちゃの修理による子ども達との交流、イベントへの出前開院	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾参加 ・スマイルフェスタ (準備も含む) 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・定期開院 ・環境センターへ物品取集 	13
	15,000円		4 3		13
かがやき	手話ふれあい交流会、手話出前講座、手話勉強会	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾参加 ・オークション 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会、練習 ・研修会 ・福祉授業(小・中学校) 	27
	25,000円		4 4		1 4
つぼみ	手話ふれあい交流会、手話出前講座、手話勉強会	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア連絡会 ・スマイルフェスタ (準備も含む) 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会、練習 (懇親会も含む) ・ろう者との交流会 	29
	10,000円		3		1
なかよし	「たんぼぼの店」の援助、バザー用品づくり、なかよし実習所への援助	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾参加 ・オークション 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会、製作 	14
	申請なし		4 3		
ふれあい上映会	いきいきサロンなどへの映画の出前	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア連絡会 ・オークション ・評議員会 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会(親睦会も含む) 出前 ・いきいきサロン ・その他 	18
	20,000円		1 2		8 1

グループ名	活動内容	社協事業への協力	回数	定例会 及び ボランティア活動	回数
	年間助成金額				
まごころ	特別養護老人ホーム で認知症カフェの 手伝い、「おひる のコンサート」で コーヒーの提供	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾参加	4 4	・総会他 ・認知症カフェ	2 3
	10,000円				
六ツ星	点訳, ガイドヘルプ, 絵本作り, 出前授業, 点字勉強会	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾参加 ・オークション ・点訳 (総会日より, かいた広報等)	4 4 2 4	・定例会, 点訳作業 ・福祉授業(小・中・専門学校) ・点訳絵本配布 (町外) ・熊野町立図書館 CD書名題名リスト化	19 6 2 1
	20,000円				
森のくまさん	森の工房あやめでの 作業の手伝い(精神 障がい者支援)	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾参加 ・オークション	3 4 3	(町外) ・安芸の郷理事会業務 ・ブルーベリーまつり手伝い ・森の工房あやめ作業 (親睦会, 季節作業も含む)	2 1 21
	申請なし				
やまびこ	紙芝居・絵本の朗読 等の出前, 朗読勉強 会	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾参加 ・評議員会	5 2 1	・定例会, 練習 ・福祉授業(中学校) ・朗読講習会 出前 ・いきいきサロン	13 2 1 1
	20,000円				
クラ椅子とことこ	車椅子体験や高齢者 疑似体験を通じた社 会貢献活動	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・オークション	3 4 5	・定例会(練習その他を含む) ・福祉授業(小・中・専門学校)	6 6
	申請なし				
計	155,000円	(助成金交付 9/12団体)			

4 おひる&よるのコンサート

福祉センター自主講座の活動の場の提供及びホールの有効活用を図るための各種コンサートを開催しました。

	月日	演奏者	内容	出前カフェ	来場者
1	10/14 (昼)	絵本とトーク&ピアノ 3人 ミセスマリimba 4人	絵本とトーク マリimba	—	51人
2	3/18 (昼)	レコード収集家 1人	シングル盤 レコード演奏	—	21人
	計	8人		—	72人

5 福祉委員会

福祉のまちづくりを推進し社協活動への協力や地域との調整を行うため福祉委員会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

コロナ禍での地域活動について、福祉委員からの聞きとりによる「地域のかわらばん(第1号・第2号)」を作成し全福祉委員に情報提供しました。

また、福祉委員活動の具体的内容のポイントや取り組みについて、ベテラン福祉委員からの情報収集により作成したチラシを新福祉委員へ配布しました。

福祉委員会	開催日	
	6/4 (中止)	1/15 (中止)

6 被災者生活サポートボラネット推進事業

災害時の「共助(被災者生活サポートボランティア活動)」をすすめる町域のネットワークを強化するため、平成30年7月豪雨災害後に行っている町・町社協・県社協の取り組みについて情報交換を行いました。

推進会議 及び研修	月日	参加者
	3/9	12人

4 その他の事業等

1 心配ごと相談事業

日常生活上のあらゆる心配ごとについての相談に応じ、解決のための助言や専門機関紹介などの支援を行いました。

相談利用件数	33件	開設場所	福祉センター
開設日数	32日（毎週木曜日13時30分～16時）		
相談員	民生委員児童委員，司法書士，土地家屋調査士， 人権擁護委員，学識経験者		

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため計16回中止

2 生活福祉資金の貸付

低所得者，障がい者又は高齢者世帯に対し，資金貸付と必要な相談支援を行うことにより，その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り，安定した生活を送れるよう支援しました。

また，新型コロナウイルスの影響により減収された方に対して自立相談支援機関と連携して特例貸付を行いました。

相談件数	延べ43件
今年度貸付件数	2件 福祉費
貸付期間中	不動産担保型生活資金 1件（低所得者世帯向け不動産担保型生活資金）
償還中	福祉資金 1件（緊急小口資金） 2件（福祉費） 2件（緊急小口資金平成30年7月 豪雨特例貸付）

新型コロナウイルス特例貸付

相談件数	延べ710件
貸付件数	緊急小口資金 241件 総合支援資金 28件 (うち延長 8件 再貸付 3件)

3 臨時特例つなぎ資金の貸付

住居のない離職者で，離職者を支援する公的給付，又は公的制度の申請を受理されている人に対して生活費を貸し付けることで世帯の自立を支援するよう努めました。

貸付件数	0件
償還中	なし

4 善意銀行の運営

地域福祉の増進に寄与したいという人々の善意の預託を受けて、福祉に欠ける方を対象として、その善意を効果的に活かし、生活困窮者を支援しました。

今年度貸付件数	延べ19件
現在債権	440,000円(58件)

5 高額療養費の貸付

医療費が高額のため、その支払いに困窮する方に対し、資金を貸し付けることにより療養の確保と経済的自立を助長し、世帯の生活の安定を図りました。

貸付件数	延べ5件
貸付金額	895,344円
償還中	なし

6 福祉サービス利用援助事業（かけはし）

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者などで判断能力が不十分な方を対象として、福祉サービス利用の手続きや預金通帳の預かり等を行うことにより、自立した生活を支援しました。

利用者	6人	新規相談件数	3件
生活支援員	4人	契約後の支援件数	546件

7 法外搬送事業

行路病人等に対する近隣のJR駅までの切符を給付し援護しました。

給付件数	1件
------	----

8 交通遺児就学奨励金給付事業

交通遺児に対する、奨励金給付の申請はありませんでした。

給付件数	0件
------	----

9 社会福祉協議会会員募集

様々な福祉活動のために有効に役立てるため、地域福祉活動に賛同いただける町民の方々より会費を募りました。

会費区分	目安額	実績額
一般会費	1世帯当たり 300円	1,915,340円
賛助会費	1世帯当たり1,000円	1,000円
団体会費	1企業当たり3,000円	212,000円
	合計	2,128,340円

10 赤い羽根共同募金運動

すべての国民が助け合い精神を基調として善意を発揮し、福祉活動に有効に役立てるため募金運動を実施しました。

募金額	2,946,433円
-----	------------

11 日本赤十字会員増強運動

国際的な人道活動や国内での災害救護活動等、赤十字の人的使命に基づき国内外を問わず支援を必要とする人々に愛の手を差し伸べるため、社費募集を実施しました。

社費額	3,049,200円
-----	------------

義 援 金 名	実 績 額
東日本大震災義援金	100,000円
平成30年7月豪雨災害義援金	189,094円
台風19号豪雨災害義援金	3,351円
令和2年7月豪雨災害義援金	138,726円
合 計	431,171円

12 社協オークション

物品の有効活用、住民同士の交流、福祉センター活用などを目的として開催しました。家庭にある休眠物などを住民から提供していただき、オークション形式で販売し、社協の自主財源の確保に努めました。

落札されなかった物品は、在庫品一斉半額セールを実施し販売しました。さらに残った物品は「海田なかよし実習所」へ寄付しました。

また、物品のリユースを目的として「譲ります」「こんなもの欲しい」の情報を掲示して希望者を探す「マッチング掲示板」をあわせて実施しました。

入札期間	7/31～8/2
引渡期間	8/4～8
セール開催日	8/12
物品提供者	18人
展示点数	92点
落札点数	52点
セール落札点数	27点
落札総額	65,806円
ボランティア数	延べ28人

海田町福祉センター 利用状況（指定管理）

【自主講座】 25講座

	自主講座名	回数	年合計(人)	月平均(人)	部屋
1	卓球	週3回	2,540	254	1階
2	サンフラワーズ(英語)	週1回	900	100	多目的ホール
3	クロリティー	週1回	283	31	
4	はつらつ健康体操	週1回	809	90	
5	体操&ウォーキング	週1回	748	75	
6	ハイビスカス(フラダンス)	月3回	226	23	多目的ホール
7	手芸	月2回	195	22	2階
8	和会(小物作り)	月3回	92	10	講座室①
9	アートフラワー	月1回	42	5	2階 講座室②
10	書道	月2回	169	17	
11	絵ごころクラブ	月1回	37	4	
12	絵てがみ	月2回	150	17	
13	折り紙(はじめてクラス)	月1回	67	7	
14	折り紙(中級クラス)	月1回	149	15	
15	月曜カラオケ	週1回	187	19	2階 音楽室
16	火曜カラオケ	週1回	142	16	
17	金曜カラオケ	週1回	349	35	
18	ハーモニカ	月2回	133	15	
19	民謡日の出教室	月2回	131	15	
20	詩吟	月3回	78	9	
21	囲碁・将棋	週4回	898	90	3階
22	梅の会(踊り)	週1回	115	13	和室①
23	銭太鼓	月2回	86	10	3階和室①
24	ヨガ	週1回	337	37	
25	ふれあい(おしゃべり会)	週5回	166	18	
合計			9,029人		

4/1~5/26, 12/15~2/21 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止

貸館(件数)	全額免除	半額免除	一般	合計
	532	7	99	638

4/1~5/26, 12/15~2/21 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止

筋力向上 トレーニング ルーム	利用者数	日平均
	2,830人	11.9人

筋トレ 年間開催238日 (58日休み)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開催日	中	5	30	31	31	30	31	29	14	中	7	30	238
休み	止	21	0	0	0	0	0	1	14	止	21	1	58

4/1～5/26, 12/15～2/21 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止

プー ル	利用者数	日平均
	14,587人	77.2人

プール 年間開催189日 (81日休み)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開催日	中	中	26	26	27	25	16	26	12	中	6	25	189
休み	止	止	4	5	4	5	15	4	16	止	22	6	81

4/1～5/31, 12/15～2/21 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止

10/15 18:00～ 10/28 プール緊急管理のため休止

◎ 海田町福祉センター 利用者数

合計 35,515人

14 福祉センター緑のカーテン

福祉センターにおける節電対策や地球温暖化防止を目的として、福祉センター南側にゴーヤを植え、緑のカーテンを作りました。

また、実ったゴーヤは今年のクイズで当選された方へのプレゼントや、福祉センター利用者、地域のいきいきサロン等へ配りました。

「ゴーヤトータル何kgクイズ」では、期限までにとれたゴーヤの総重量を予想するクイズを実施しました。

投票期間	6/1～8/21	当選者	ピタリ賞	1人
参加者数	97人		ニアピン賞	5人
計測発表日	9/7			
総重量	41.6kg			

